

おくりがな

年 組 なまえ



◎ふとい字のぶぶんをおくりがなにちゅういしてかん字で書きましょう。

海がひろがる

パンをたべる



①

②

数をかぞえる

こたえる

③

④

あかるい

いけんがわかれる

⑤

⑥

あたらしい

すくない

⑦

⑧

かんがえる

おしえる

⑨

⑩

力をあわせる

こまかいつぶ

⑪

⑫

おくりがな

こたえ

年

組

なまえ

◎ふたつの字のふぶんをおくりがなにちゅういしてかん字で書きましょう。



海がひろがる

パンをたべる

広がる

食べる

数をかぞえる

こたえる

数える

答える

あかるい

いけんがわかれる

明るい

分かれる

あたらしい

すくない

新しい

少ない

かんがえる

おしえる

考える

教える

力をあわせる

こまかいつぶ

合わせる

細かい

①

③

⑤

⑦

⑨

⑪

②

④

⑥

⑧

⑩

⑫



形がにているかん字

年 組 なまえ

◎ 太字のぶぶんに着ういしてかん字で書きましよう。

うち

はこの  
がわ

にく

やき

おや  
ごころ

しん  
かん  
せん

幹

でん  
ち

ち  
か

て  
つ

もん

家の

あいだ

休  
みの

き

話  
を

く

え  
ほん

ざい  
く

ガ  
ラ  
ス

しん  
ぶん  
し



◎ 太字のぶぶんがちゅういしてかん字で書きましょう。

かん

ち

か

でん

ち

て

つ

しん

かん

せん

おや

ごころ



や

き

にく

は

この

うち

が

わ

しん

ぶん

し

ガ

ラ

ス

さい

く

え

ほん

話

を

き

く

休

みの


あい

だ

家

の

もん





◎ふたひの字のところにちゅういしてかん字を書きましよう。

①

丸	まる	円	まる
---	----	---	----

い玉

いさら

②

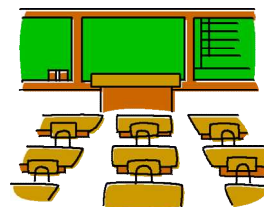
道	どう	同時	どうじ
---	----	----	-----



③

強	きょう	教室	きょうしつ
力	りよく		

なみかた



④

親	しん	新	しん
友	ゆう	入	にゅう
		生	せい

⑤

公	こう	遠	えん
園	えん	足	そく



⑥

交	こう	光	こう
通	つう		

かん  
バス

◎ 太字のところにはちゅういしてかん字を書きましょう。

①

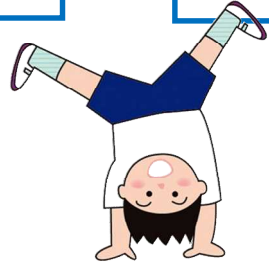
	と	は
	も	な
と		し
	あ	あ
う		う

③

と	せ
し	き
が	を
	あ
	あ
ける	ける

⑤


	そ	げ
	う	ん
	げ	ん
		き



②

	だ	き
	い	よ
		う
		だ
		い

どころ



④

	て	て
	ん	ん
	す	い
	う	ん

いんさん

⑥

車	は
の	ん
	ば
	い
	ば
	い
	する

◎ 太字のところこちゅういしてかん字を書きましよう。

①

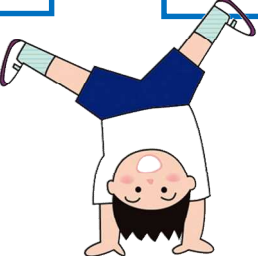
友	とも	話	はな
と		し	
会	あ	合	あ
う		う	

③

と	せ
し	き
が	を
明	空
あ	あ
ける	ける


⑤

草	げん
原	き
そ	
う	
げん	



②

台	だい	兄	き
だい		弟	う
			だい



④

点	てん
数	すう
てん	
すう	

⑥

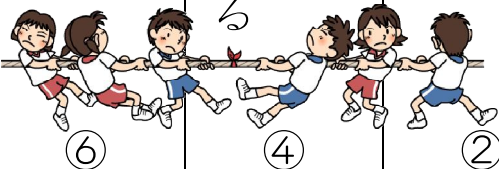
車	は
の	ん
売	ばい
買	ばい
	する



年 組 なまえ

◎ ( ) によみ方を書きましよう。

<p>① ( )</p> <p>力強く歩む</p> <p>② ( )</p> <p>ゴールまで力走する</p>	<p>③ ( )</p> <p>チーム一丸となる</p> <p>④ ( )</p> <p>見聞を広める</p>	<p>⑤ ( )</p> <p>顔めんをうつ</p> <p>⑥ ( )</p> <p>雨天でもでかける</p>	<p>⑦ ( )</p> <p>十人十色</p> <p>⑧ ( )</p> <p>正直にあやまる</p>	<p>⑨ ( )</p> <p>黄金の鳥にであう</p> <p>⑩ ( )</p> <p>千代紙でつるをおる</p>	<p>⑪ ( )</p> <p>虫の音に秋を知る</p> <p>⑫ ( )</p> <p>百人一首のかるた</p>	<p>⑬ ( )</p> <p>早朝にでかける</p> <p>⑭ ( )</p> <p>百点を取ると広言する</p>	<p>⑮ ( )</p> <p>売買をする</p> <p>⑯ ( )</p> <p>頭上にちゅうい</p>
---	---	---	--	--	---	--	---

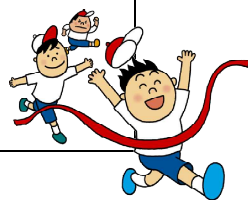


年 組 なまえ

◎ ( ) によみ方を書きましよう。

① ( あゆ )  
力強く歩む

( りきそう )  
ゴールまで力走する

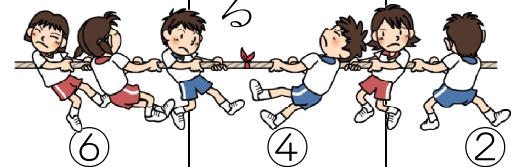


③ ( いちがん )  
チーム一丸となる

( けんぶん )  
見聞を広める

⑤ ( がん )  
顔めんをうつ

( うてん )  
雨天でもでかける



⑦ ( じゅうにんといろ )  
十人十色

⑧ ( しょうじき )  
正直にあやまる

⑨ ( おうごん )  
黄金の鳥にであう

⑩ ( ちよがみ )  
千代紙でつるをおる

⑪ ( ね )  
虫の音に秋を知る

⑫ ( ひやくにんいっしゅ )  
百人一首のかるた



⑬ ( そうちよう )  
早朝にでかける

⑭ ( こうげん )  
百点を取ると広言する

⑮ ( ばいばい )  
売買をする

⑯ ( ずじよう )  
頭上にちゅうい

年 組 なまえ

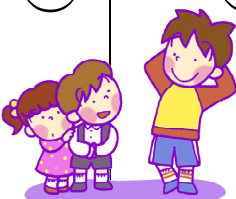
◎ ( ) によみ方を書きましょう。

① 方言で話す



③ えんぴつで記す

魚市場



⑤ テストに合かくする

来年は三年生です

⑦ そぼの形見

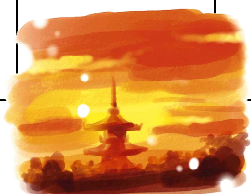
あてが外れる

⑨ 先頭になる

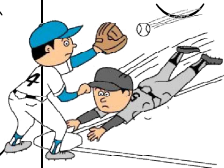
後まわしにする

⑪ 外のい見をきく

寺いんの見がく



⑬ 動作が早い



⑭ 細心のちゅうい

⑮ 行く手をじゃまする

戸外であそぶ



⑯

年 組 なまえ

◎ ( ) によみ方を書きましょう。

① (ほうげん) 方言で話す



② (らく) 楽なしごと

④ (うおいちば) 魚市場



⑤ (ごう) テストに合かくする

⑥ (らいねん) 来年は三年生です



⑦ (かたみ) そぼの形見

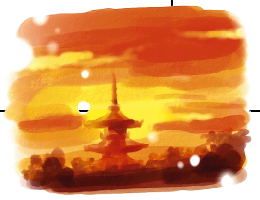
⑧ (はず) あてが外れる

⑨ (せんとう) 先頭になる

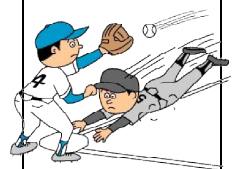
⑩ (あと) 後まわしにする

⑪ (ほか) 外のい見をきく

⑫ (じ) 寺いんの見がく



⑬ 動作が早い



⑭ (さいしん) 細心のちゆうい

⑮ (ゆ) く (て) 行く手をじゃまする

⑯ (こがい) 戸外であそぶ



年 組 なまえ

◎ ( ) によみ方を書きましよう。

① 秋分の日



② 社にもうでる



③ 月の引力



④ 親しい友人

⑤ 計算きを用いる

⑥ 昼食を食べる

⑦ 新雪にねころぶ

⑧ 鳥の羽音

⑨ 絵画をかん賞する

⑩ 八月の半ば

⑪ 雲海をながめる

⑫ 春分の日

⑬ ニわり五分引き

⑭ 句読点

⑮ 明朝早く起きる

⑯ 子ども用の読本

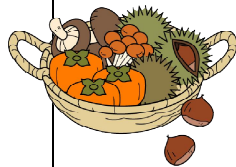


年 組 なまえ

◎ ( ) によみ方を書きましょう。

① (しゅうぶん)

秋分の日



②

(やしろ)

社にもうでる



③

(いんりよく)

月の引力

④

(した)

親しい友人



⑤

(もち)

計算きを用いる

⑥

(ちゅうしょく)

昼食を食べる

⑦

(しんせつ)

新雪にねころぶ

⑧

(はおと)

鳥の羽音

⑨

(かいが)

絵画をかん賞する

⑩

(なか)

八月の半ば

⑪

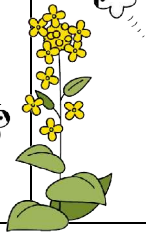
(うんかい)

雲海をながめる

⑫

(しゅんぶん)

春分の日



⑬

(ごぶ)

二わり五分引き

⑭

(くどうてん)

句読点

⑮

(みょうちよう)

明朝早く起きる

⑯

(とくほん)

子ども用の読本

めざせ かん字マスター (かきとり①)

年 組 なまえ

◎ \_\_\_\_\_ のところをかん字で書きましょう。

おくりがなのあるものはおくりがなを正しく書きましょう。

① \_\_\_\_\_ ② \_\_\_\_\_

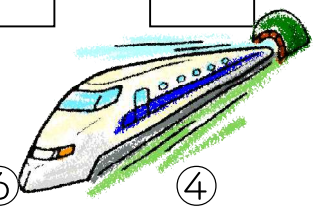
きしやをまつ

③ \_\_\_\_\_ ④ \_\_\_\_\_

じかんをはかる

⑤ \_\_\_\_\_ ⑥ \_\_\_\_\_

教室のこうほうにおく



⑦ \_\_\_\_\_ ⑧ \_\_\_\_\_

しかくけいのはこ

⑨ \_\_\_\_\_ ⑩ \_\_\_\_\_

はんズボン



⑪ \_\_\_\_\_ ⑫ \_\_\_\_\_

ほうげんで話す

⑬ \_\_\_\_\_ ⑭ \_\_\_\_\_

晴れのちくもり

⑮ \_\_\_\_\_ ⑯ \_\_\_\_\_

しゆくだいをおそわる

こうだいなとち



⑰ \_\_\_\_\_

じいんを見学する

⑱ \_\_\_\_\_

えんそくに行く

⑲ \_\_\_\_\_

宝くじがはずれる

⑳ \_\_\_\_\_

王さまとけらい

㉑ \_\_\_\_\_

のはらで虫をとる

㉒ \_\_\_\_\_

あとにつづく

㉓ \_\_\_\_\_

年 組 なまえ

◎ \_\_\_\_\_ のところをかん字で書きましょう。

おくりがなのあるものはおくりがなを正しく書きましょう。

①

汽車

②

後

きしゃをまつ

あとにつづく

③

計る

④

野原

じかんをはかる

のらで虫をとる

⑤

後方

⑥

後方

教室のこうほうにおく

王さまとけらい

⑦

四角形

⑧

外れる

しかくけいのはこ

宝くじがはずれる

⑨

半

⑩

遠足

はんズボン

えんそくに行く

⑪

方言

⑫

会う

ほうげんで話す

先生とコンビニであう

⑬

後

⑭

寺

晴れのちくもり

じいんを見学する

⑮

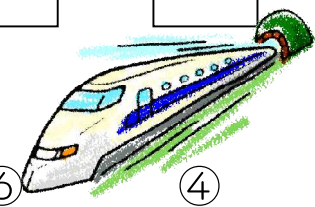
教わる

⑯

広大

しゆくだいをおそわる

こうだいなとち





年 組 なまえ

◎ \_\_\_\_\_ のところをかん字で書きましょう。

おくりがなのあるものはおくりがなを正しく書きましょう。



①

\_\_\_\_\_

むぎちやをのむ

②

\_\_\_\_\_

いちがんとなる

③

\_\_\_\_\_

うつくしいこうけい

④

\_\_\_\_\_

さんこうしよをかう

⑤

\_\_\_\_\_

しけんにこうかくする

⑥

\_\_\_\_\_

しんせつなお兄さん

⑦

\_\_\_\_\_

さるかにがっせん

⑧

\_\_\_\_\_

作りなおす

⑨

\_\_\_\_\_

どうさがはやい

⑩

\_\_\_\_\_

せんとうを走る



⑪

\_\_\_\_\_

ノートにしるす

⑫

\_\_\_\_\_

こがいであそぶ

⑬

\_\_\_\_\_

そふのかたみ

⑭

\_\_\_\_\_

土とすながまじる

⑮

\_\_\_\_\_

さいしんのちゅうい

⑯

\_\_\_\_\_

そのほかのれいをさがす



年 組 なまえ

◎ \_\_\_\_\_ のところをかん字で書きましょう。

おくりがなのあるものはおくりがなを正しく書きましょう。



① 麦茶

② 一丸

むぎちやをのむ

いちがんとなる

③ 光景

④ 考書

うつくしいこうけい

さんこうしよをかう

⑤ 合

⑥ 親切

しけんにごうかくする

しんせつなお兄さん

⑦ 合

⑧ 直す

さるかにがっせん

作りなおす

⑨ 動作

⑩ 先頭

どうさがはやい

せんとうを走る

⑪ 記す

⑫ 戸外

ノートにしるす

こがいであそぶ

⑬ 形見

⑭ 交じる

そふのかたみ

土とすながまじる

⑮ 細心

⑯ 外

さいしんのちゅうい

そのほかのれいをさがす



混じる

【5年生】

他

【3年生】

を書いたものも

○とする。



めざせ かん字マスター (かきとり③)

年 組 なまえ

◎ \_\_\_\_\_ のところをかん字で書きましょう。

おくりがなのあるものはおくりがなを正しく書きましょう。



①

Blank box for writing the kanji.

かん字のぶしゆ

②

Blank box for writing the kanji.

ひめいがあがる

③

Blank box for writing the kanji.

せきらんうんが近づく

④

Blank box for writing the kanji.

かんでんちを買う



⑤

Blank box for writing the kanji.

野山にしんせつがつもる

⑥

Blank box for writing the kanji.

しゅんぶんの日

⑦

Blank box for writing the kanji.

ペンをもちいる

⑧

Blank box for writing the kanji.

学級のそしき

⑨

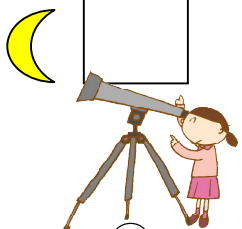
Blank box for writing the kanji.

八月のなかば

⑩

Blank box for writing the kanji.

月のいんりよく



⑪

Blank box for writing the kanji.

おんせいを小さくする

⑫

Blank box for writing the kanji.

みようちよう早おきする

⑬

Blank box for writing the kanji.

くとうてんをうつ

⑭

Blank box for writing the kanji.

ただちに集まりなさい

⑮

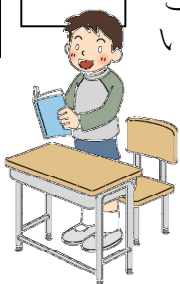
Blank box for writing the kanji.

しょうぶはごぶとごぶだ

⑯

Blank box for writing the kanji.

おかし使ったとくほん



めざせ かん字マスター (かきとり③) こたえ

年 組 なまえ

◎ \_\_\_\_\_ のところをかん字で書きましょう。

おくりがなのあるものはおくりがなを正しく書きましょう。



①

首

かん字のぶしゆ

②

鳴

ひめいがあがる

③

雲



④

電池

せきらんうんが近づく

かんでんちを買う

⑤

新雪

野山にしんせつがつもる

⑥

春分

しゅんぶんの日



⑦

用いる

ペンをもちいる

⑧

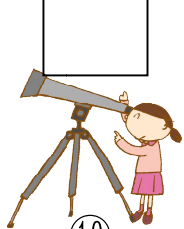
組

学級のそしき

⑨

半ば

八月のなかば



⑩

引力

月のいんりよく

⑪

音声

おんせいを小さくする

⑫

明朝

みょうちよう早おきする

⑬

読点

くとうてんをうつ

⑭

直ちに

ただちに集まりなさい

⑮

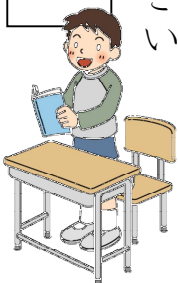
五分

しょうぶはごぶとごぶだ

⑯

読本

おかし使ったとくほん



かん字で作文 れいだい

年 組 なまえ

◎  のかん字をすべて使って、「おはなし」を作りましょう。ほかのかん字をたしても、どのかん字から使っても、同じかん字を何回使ってもかまいません。

家 父 母 弟 妹

わたしの家ぞくをしようかいます。

わたしの家はお父さんとお母さんと弟と妹とわたしの

五人家ぞくです。弟はこの四月にちばっこ小学校に入学

した一年生です。学校がだいすきです。妹はもうすぐ一

さいになります。はいはいができるようになり、わたしと

弟の後をついてくるのでとてもかわいいです。

お父さんはお休みの日にはわたしたちを公園につれてい

ってください。弟とわたしはすべり台であそびます。

わたしは家ぞくとすごす日曜日が大き

きです。

かん字をたくさん使えるように  
がんばりましょう！おはなしは  
とちゅうまででもいいですよ。





かん字で作文 れんしゅう

年 組 なまえ

◎  のかん字をすべて使って、「おはなし」を作りましょう。ほかのかん字をたしても、どのかん字から使っても、同じかん字を何回使ってもかまいません。

家 父 母 弟 妹

ほんとうにあったはなしでなくともかまいません。  
楽しんでつくってください。

※えを書きましょう。





かん字で作文①

年 組 なまえ

◎  のかん字をすべて使って、「おはなし」を作りましょう。ほかのかん字をたしても、どのかん字から使っても、同じかん字を何回使ってもかまいません。

海 船 晴 魚 明

※えを書きましょう。

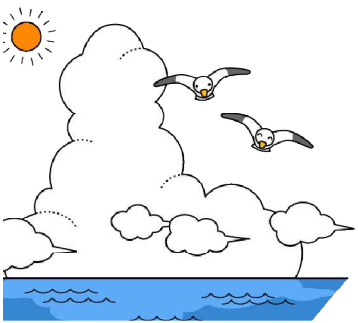
れい

年 組 なまえ

◎  のかん字をすべて使って、「おはなし」を作りましょう。ほかのかん字をたしても、どのかん字から使っても、同じかん字を何回使ってもかまいません。

海 船 晴 魚 明

空が明るくなってきました。夜明けです。空は晴れわたって海の遠くを船が通っていくのがはっきりと見えます。「海がきれいだ。さあ、すばらしい一日がはじまるぞ。」かもめのあおたは言いました。「遠くの船もよく見える。今日はどこへ行こうかしら。」かもめのももこはたずねます。「うん。海のむこう。波のむこう。空と海の青が一つになっってどんな船もたどりつけない、なみのむこうにお魚じまがあるんだ。そこにはお魚キングがいて、たくさんの魚たちと明るくしあわせにいらしているんだ。」

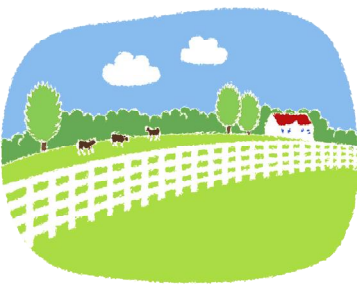


# かん字で作文②

年 組 なまえ

◎  のかん字をすべて使って、「おはなし」を作りましょう。ほかのかん字を加えても、どのかん字から使っても、同じかん字を何回使ってもかまいません。

原 走 広 遠 高





れい

◎  のかん字をすべて使って、「おはなし」を作りましょう。ほかのかん字を加えても、どのかん字から使っても、同じかん字を何回使ってもかまいません。

原 走 広 遠 高

「ごらん、**遠**くの空を雲がながれていくよ。」

「ほんとう。秋は空が**高**いね。**遠**くまですみわたって思わず

**走**り出したくなるよ。それでもこの**草****原**は**広**くて**広**くて。」

今年の春に生まれた子馬のたろうとじろうはなかよく走りなが

ら話をしています。**野****原**をふく風はすっかり秋です。**遠**くの山も

はっきり見えます。**走**っても**走**っても**原**っぱは切れることがあります

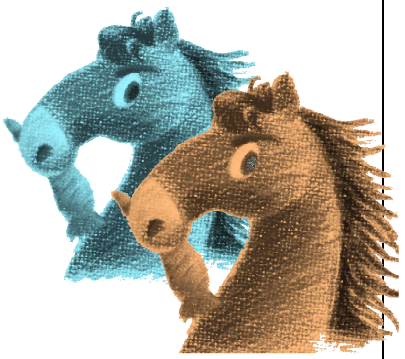
ません。

「ずいぶん**遠**くまできたんだね。兄さん。」

「この**野****原**でさえこんなに**広**いんだもの。」

ぼくたちがすむこのせかいはとても**広**く

て、そのはては**遠**くにあるんだ。」(つづく)





かん字で作文③

年 組 なまえ

◎  のかん字をすべて使って、「おはなし」を作りましょう。ほかのかん字を

たしても、どのかん字から使っても、同じかん字を何回使ってもかまいません。

雪 雲 風 鳥 流

※えを書きましょう。										

かん字で作文③

年 組 なまえ

れい

◎  のかん字をすべて使って、「おはなし」を作りましょう。ほかのかん字をたしても、どのかん字から使っても、同じかん字を何回使ってもかまいません。

雪 雲 風 鳥 流

「お母さん。風が強くなってきたわ。雪が風に流されて前が見えない。」

「がんばるのよ。風にまけないで。雪にまけないで。もっとはばたいて。」

雲が重くたれこめた、北の国を白鳥のお母さんと白鳥の子どものスワン

はお父さんをさがして今日も雪ふる中を風におかたってたびを続けます。

「風に流されるわ。もうとべない。雪が重い。雪がつめたい。」

スワンはお母さんに話します。雪雲がはやくはやく流れていきます。

「ああ、せめてあの雲にのれたら。あの雲ではねを休められたら。」

「スワン。もう少しよ。あの雪の谷をこえて、風の生まれる黒い森をこえ

たら、あたたかないずみが流れ出る七色のみずうみ

があるわ。そこは雪もなく、風もなく、鳥たちがしあ

わせにくらす春の鳥の森。そこにお父さんはいるわ。」





